

特定非営利活動法人びーのびーの2016年度事業報告書

2016年4月1日～2017年3月31日

第1 1年を振り返って

NPO 法人びーのびーの16年目となり、事業全体に渡り、関わるボランティア、スタッフのすそ野が拡がり、とくに職員数は60人有する法人となった。

毎月、法人事務局を中心に会計推移と管理の確認、各部門代表者が集まって運営指針を検討していく連絡会を定期的に行う。人材育成では初任者研修はじめ3年目研修など、事業横断的な学び合いと交流の場を持ちながら、ミッションを共有しつつ進めてきた。

大きくは指定NPO法人となったこと、そして定款変更も行い、子育て支援分野に注力してきた中で、これからの地域福祉のあり方を予見し、多世代交流拠点、介護予防事業の実践を常設の場として展開することを決意。その準備に邁進した年であった。

区内の活動エリアがびーのびーのが生まれた菊名地区から大倉山、師岡、綱島地区となり、この新たな交流拠点が篠原地区に位置することから、それぞれの活動がそれぞれの地区に根ざし、貢献していくことを主眼にしながら、さらに港北区全体、多世代に渡る暮らしやすさを法人の活動を通して実践していくことが求められるようになった。

年明けには横浜市の第8回「人・まち・デザイン賞」の地域まちづくり部門を受賞し、16年の活動実績への1つの成果が得られたことが大きな励みになった1年であった。

第2 事業内容

1. 子育て支援施設の運営

① 「おやこの広場びーのびーの（菊名ひろば）」

（横浜市子ども青少年局委託事業 親と子のつどいの広場事業）

(1) 基本データ

① 対象	主に0歳から3歳までの未就学児とその保護者
② 実施場所	横浜市港北区篠原北1-2-18
③ 開催日時	月曜～金曜 9:30～15:30 第3水曜 12:00～15:30
④ 従業員数	9名
⑤ 事業概要	<ul style="list-style-type: none">・子育て親子の交流、集いの場の提供・子育てに関する相談の実施・地域子育て関連情報の収集及び提供・子育て及び子育て支援に関する講習の実施・一時預かりの実施

(2) 報告

1) 共に育ちあい育てあうひろば

会員同士が信頼関係を結び、ひろばの子どもたち全体を見合う雰囲気作りができた。

各曜日にボランティアに入ってもらいスタッフは安心して、ひろばを見守ることができた。

毎月1回ボランティアによるイベントの実施。

土曜ひろば開館を年4回実施。

毎月1回以上のブログの更新。

地域イベントにも積極的に参加。ひろば親子共に地域との交流を深めた。

町内会、児童委員への公園企画の説明。下見を兼ねて公園遊びの実施。

2) 当事者性を大切に

子ども達が自由で安全に遊べるひろば環境を考え反映させた。

3) 座談会

0才児親子向けの座談会を年9回実施。

座談会テーマを決め年4回実施。広報紙にも報告を掲載。

4) 一時預かり

ボランティアと連携し預かり中の子どもを利用者と共に、みんなで見守った。

広報紙に特集を組み、ひろばを利用したことのない親子にも、ひろばの預かりについて知ってもらう機会を設けた。

② 港北区地域子育て支援拠点どろっぴ

(港北区地域子育て支援拠点委託事業)

(1) 基本データ

	どろっぴ	どろっぴサテライト
① 対象	主に0歳から3歳までの未就学児とその保護者	
② 実施場所	横浜市港北区大倉山3-57-3	横浜市港北区綱島東3-1-7
③ 開催日時	火曜～土曜 9:30～16:00 (祝日と年末年始及び特別休館日を除く)	
④ 従業員数	18名	9名
⑤ 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の居場所 ・人材育成 ・情報収集、提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談 ・ネットワーク
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポートシステム ・利用者支援事業 	

(2) 報告

- 1) 利用者支援事業横浜子育てパートナーが定着し、ひろば相談や個別相談、また地域からの相談、電話相談と多様な入口に丁寧に関わっていけるようになった。また、びーのびーのとの連携や地域の保育園から繋がることもあり、保健師や子育て支援に関わる個人、機関との個別支援が強まった。
- 2) どろっぴサテライトが1年経って、地域の支援者が増え、はやくも利用者の中から主体的に動こうとする親が生まれ、サテライトの雰囲気づくりを温かいものにしてくれた。隣接の綱島東小学校とは学校長、副校長、PTA会長はじめ双方のイベント時に協力し合うなどの関係ができた。また祭礼などについては綱島東町内会との連携が進んだ。
- 3) 子育て情報発信のあり方として行政のオープンデータ化に伴い、独自のアプリ開発に着手し、市民発、Cord for Kohokuの取り組みが始まった子育て応援メールマガジンココめ～るからさらに時代に添った情報発信に向けた取り組みに着手した年となった。この動きから経済局の様々な取組みに注目されることとなり、新たな事業展開が見込まれるようになった。
- 4) 妊娠期からの切れ目ない取組みとしてどろっぴおよびサテライトでの土曜日両親教室開催において申込システムの改変を区と着手し実現させた。働いている人、育児で忙しい子育て家庭の志向に沿った申込み形態で区の助産師と協働で産前からの支援に取り組むことができた。
- 5) 毎年行ってきた利用者アンケートの仕組みを大幅に改善。今年是全国版のアンケート結果との比較検証ができ、より綿密な地域診断とこれからの活動に参考になる結果が受け取られた。
- 6) 市民協働条例に基づく自主事業申請による「たべ～る ば 大倉山」実現に向けて環境づくり、事前調整に取り組んだ。
- 7) 障がい児者支援機関や、障がい当事者グループ、子育て応援隊缶バッジの普及啓発など、多様な関係者とともに拠点以外での場での子育て支援の取組を広げることができた。

2. 子育て支援に関する事業

預かり保育「まんまーる」

(1) 基本データ

① 対象	おおむね2～3歳(月～金:各8名 一時預かり:各日2名)
② 実施場所	港北区大倉山3-3-3 磯部マンション205
③ 開催日時	月曜日～金曜日 9:30～13:00
④ 従業員数	8名
⑤ 事業概要	幼稚園・保育園に入園前の子ども(2歳・3歳)を対象としたグループ保育。登録制。

(2) 報告

- 1) 一人ひとりのペースを大切にじっくり対応して、みんなリラックスして保育時間を過ごせるようになった。発達がゆっくりなお子さんの受け止め方を、常にスタッフ全員で模索している。保育前に各自その日の「一言目標」を掲げることで、より意識して保育にあたることができた。9月より全コース定員(8名)に達し、合計38名。一時預かりの登録者は15名。

- 2) 同じ曜日のメンバーで、お互いの子を理解し、見守り合う姿が見られるようになった。
菊名ひろば・どろっぴ・企画室より地域のイベントを案内し、子育てを楽しむきっかけを提供できた。
- 3) 一時預かりの利用者：月平均10名
延長保育の利用者：月平均5名
利用時間：月平均5.5H
一時預かり利用のお子さんが年度の途中からグループ保育に移行することが多かった。
- 4) 菊名ひろばで気になる親子にひろばスタッフが声をかけ、まんまーるにつながった。
配慮の必要なお子さんをどろっぴスタッフと情報を共有し、一緒に見守ることができた。

3. 子育てに関する地域の情報発信

(1) 基本データ

① 対象	子育て世帯
② 実施場所	横浜市港北区大倉山5-40-3 大倉山壺番館207
③ 業務時間	月曜～金曜 9:00～17:30
④ 従業員数	5名
⑤ 事業概要	<p>① 出版・制作・企画事業</p> <p>(ア) 「ビーのびーの幼稚園・保育園ガイド」の発行・販売</p> <p>(イ) 制作・企画 各種制作(チラシ、冊子、パンフレット、HPなど)、イベント実施</p> <p>(ウ) 書籍販売</p> <p>(エ) ビーのびーの通信</p> <p>② インターネット事業</p> <p>(ア) 港北区子育て応援マップココマップ (ウェブサイトの編集・制作・運営)</p> <p>(イ) トレッサ横浜HP内「とれおんパーク」ブログ記事制作 トレッサ横浜委託事業</p> <p>③ 事務請負・コンサルティング事業</p> <p>(ア) 子育てタクシー</p> <p>(イ) 子どもと保育総合研究所事務</p>

(2) 報告

- 1) 新事業に向けての勉強会に出席するなど積極的にこなった。映像祭に出品するなどのきっかけから広報、事業展開に繋げることができた。これまでの制作の信頼性から新事業につなげることができた。
- 2) イベントで収集した子育て当事者の声を反映させて冊子づくりができた。
- 3) 新しいココマップ世代の編集メンバーが増え、記事の作成を任せるなどにより当事者目線の発信ができた。
- 4) ブログの外部メンバーが力を発揮してくれ、記事数に反映できた。ブログのイベントが(ダンボールイベント)年2回で定着してきている。イベント時に当事者(子育て、シニア世代)に話かけるなどをし、ひろばの紹介やサポートの情報、子育て情報の提供をすることができた。
- 5) フェイスブックなどのツールを使い情報発信の強化をした。定期的に子どもと保育総合研究所の運営会議に参加し、共有の場を増やした。
- 6) 子育てタクシーの連携では、朝礼でドライバーたちとのコミュニケーションを増やし、広報活動に多く参加するなど、共有の場を増やした。また、タクシー協会のモニターにも参加し、女性の観点からの意見出しができた。
- 7) スタッフ内での報告・共有を心がけた。
- 8) 広報紙は年10回、滞りなく発行をすることができた。
新しくどろっぴ向かいにある店舗から新規広告を受注することができた。
- 9) 動画制作ワークショップに参加し、法人PR映像を制作。総務省関東総合通信局・関東ICT推進NPO連絡協議会・かんとNPO映像祭実行委員会の共同主催による「第1回かんとNPO映像祭」に応募。
優秀賞を受賞。

4. 子育てに関するセミナー・イベント・調査等の企画実施

(1) 報告

① 取材、見学対応

年間4回の現場視察会を開催し、7組11名の参加があった。

(7月/3組4名、9月/3組5名、12月/1組2名、3月/0組)

法人が運営する子育て支援施設(菊名ひろば、港北区地域子育て支援拠点どろっぴを中心)で施設見学、説明を行い、事業の啓発・情報交換の場とすることができた。また、実践者のための実務体験の場として活用いただいた。他に、視察及び取材・見学が、26組77名あった。

② 外部講演会講師、原稿作成依頼等

2016年度 7回

(三鷹市保育園地域開放事業講師、市読書活動推進ネットワークフォーラム企画、多摩子育て支援要請講座、21世紀かながわ円卓会議、江戸川総合人生大学スポーツアメニティー、雑誌記事クレヨンハウス、地域保健2017年3月号東京法規出版)

③ 外部委員会出席等

2016年度 8回

(ひっとプラン港北、未来を強くする子育てPJ選考コスモプラン、横浜市読書活動推進NF企画、ボランティアセンター運営委員会)

④ 学生実習受入れ

2016年度 12回

(桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部、明治学院大学、岩崎学園横浜実践看護専門学校、東京慈恵会医科大学、岩谷学園、横浜創英大学、浦和大学、長野短期大学、)

⑤ 絵本の会

菊名ひろばでおはなし会を隔月で実施。菊名ひろばバザーで特別おはなし会を実施(春・秋の2回)。

秋のバザーでは不要の絵本を持ち寄った「えほんや」を開店、売り上げ金は各拠点への絵本寄贈に使った。

港北図書館主催のおはなし大会に2回参加(4月、11月)

びーのびーの通信に絵本紹介執筆。7月号でメンバーによる「おすすめ絵本」特集を組んだ。

8月に絵本の入れ替えを行った。

年2回定例会を実施(7月、3月)。

研修で神奈川近代文学館で開催された企画展「絵本作家・西村繁男の世界展 やこうれっしゅで出発!」を見学、記念講演会に参加した。(9月)

5. 地域型保育事業の運営

小規模保育事業 ちいさなたね保育園

(1) 基本データ

① 対象	生後57日から2歳児
② 実施場所	横浜市港北区師岡町824 第一ネッキビル
③ 開所日時	月曜～金曜 7時30分～18時30分 土曜 7時30分～15時30分
④ 従業員数	13名
⑤ 事業概要	子ども・子育て支援新制度において平成27年4月に設立された「小規模保育事業A型」 定員19名

(2) 報告

1) 保育の基盤づくり

子どもと保育総合研究所で事例発表(8月13日)

異年齢保育を柱とする。(子どもの様子を見て9月から異年齢で生活)

小規模多機能介護施設「なの花」との交流。

樽町中学校の「ふれあい体験事前授業」に参加。

外部研修については、自主研修も含め、約35講座に参加。

卒論研究の大学生を受け入れることにより自園の見直しと次世代育成。

小学館に実践報告を応募。

毎週水曜日、年2回拡大職員会議を非常勤職員と共に行い保育を深める。

しおり、児童票、日誌などの書類の見直し。

2) 保護者と地域の懸け橋になる

毎月第一日曜（午前）の公園掃除に参加。7月3日実施の清掃は保護者も参加。

秋祭りに地域の方々も招待し交流。

ブログにより地域との関わり、地域での子供たちの様子を発信。（毎週金曜日）

「助産師さんと話そう」 3回実施

3) 地域の親子も共に

師岡沼上耕地公園にて出前保育 8回実施

6. 地域福祉・交流に関する事業

地域福祉・交流スペース COCO しのはら

(1) 基本データ

① 対象	乳幼児から高齢者まで主に地域住民
② 実施場所	横浜市港北区篠原町1077

(2) 報告

2017年4月開所に向けての準備

7. 上記の事業を行うために必要な一切の活動

(1) 報告

1) 法人運営に関わる一切の会議開催

理事会 3回/年（5月11日、10月26日、3月15日）

定期総会 5月29日

臨時総会 11月16日

全体会 2回/年（7月6日、11月16日）

運営連絡会 12回/年（毎月）

会計チェック開催 12回/年（毎月）

次代を考える意見交換会 3回（9月29日、10月14日、11月16日）

2) インターン受入れ 2016年度1名

3) 法人研修の開催

初任者研修 3回/年（5月16日、6月6日、6月27日）

初任者フォローアップ研修 11月14日

年度途中採用スタッフ研修 12月10日

法人全体研修 2017年1月21日

個人別研修記録表の作成。

4) 地方税第314条の7第1項第4号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人を指定するための基準、手続き等に関する条例第2条に規定する指定特定非営利活動法人となった。

5) COCO しのはら 事業開始に伴う準備。

6) 定款変更手続き。